

トラスシステム



トラスの可能性



トラスは、様々な用途の施設や空間構築に活用されています。

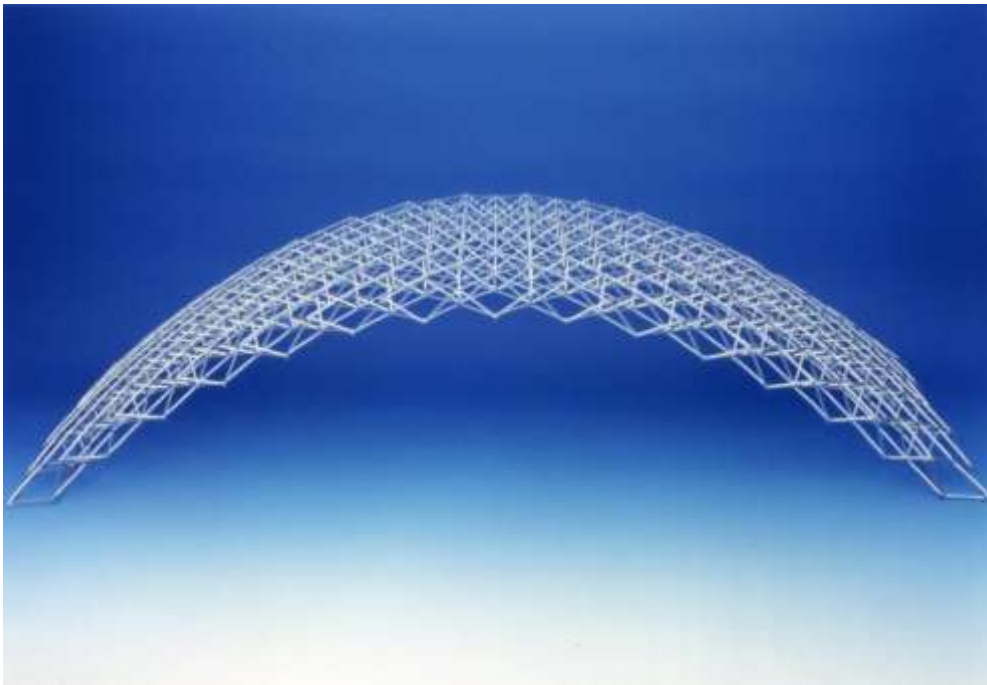
体育館やスポーツセンターにおいては、トラスの持つのびやかな開放感が注目を集めます。

市場やターミナル、倉庫では、効率的な運用のできる大きなオープンスペースが。

展示場や店舗、ショールームでは、その軽やかでリズムカルな形状やデザインが演出効果を引き立てます。

工場や人工圃場では、システムティックな構造が多目的な利用を導きだします。

さまざまな想いを担うトラスは、まさに住宅や学校などの身近なものから格納庫や巨大なイベントホールまで、その可能性を無限に拓けています。



トラスのコンセプト



トラスは斬新な考え方から生まれた連続部材による新しい立体トラスシステムです。従来の立体トラスは、短い部材を溶接やねじ切り、ボルト締めしながら球形などのジョイント材に接合していく方法をとっています。そのためどうしても部材の種類や数量、接合箇所が多く、その組み立て作業の複雑さや労務量の多さ、工場加工の複雑さなどにより、絡体コストの上昇を引き起こしていました。トラスの開発思想は、経済性に優れ美しく自由なトラスシステムの構築です。

そのために研究、開発されたのが高カボルトによる新しいジョイントシステムであり、それによって連続部材による画期的な立体トラスが実現できることになりました。

少ない柱で大きな空間を創り出す立体トラスの特徴は、そのユニークさと美しさで注目を浴び続けています。トラスは、それを実現しやすくする「経済性」を立体トラスに付与しています。短い工期、厳重な品質管理による安定した精度と耐久性、基本計画から完成までのトータルシステムの完備、豊富なサブシステムなど、立体トラスで理想の空間創りをとお考えの方には最適です。



トラスの構造・施工



トラス材は、強度及び精度が一定で安定供給の確保される
一般構造用鋼管STKを使用。

その軽量パイプを連続した弦材と斜材として利用できるのは、
ハイテンション・ボルトによるジョイントシステムの完成によります。

この画期的な連続部材による立体トラスの組み立ては、
たとえば500㎡の組み立てに必要な日数は3日というように、
従来の工法よりも大幅な工期の短縮を可能にしました。

しかも迅速な供給ができ、その材料運搬費用も500㎡で
中型トラック1台程度。専用のクレーンによるフレーム垂直揚重が
可能ですから、敷地いっぱい建設できるという利点もあります。

また立体トラスの構造解析は、複雑で難しいものですが、
コンピューターによる解析プログラムを駆使し、
迅速な処理が可能になっています。



■ 博覧会パビリオン



■ 大学 体育館



■ ショールーム



■ 印刷工場



■ 研究所



■ 工場・体育館



体育館



■ 高等学校・体育館



■ 社会福祉総合施設

アトリウム



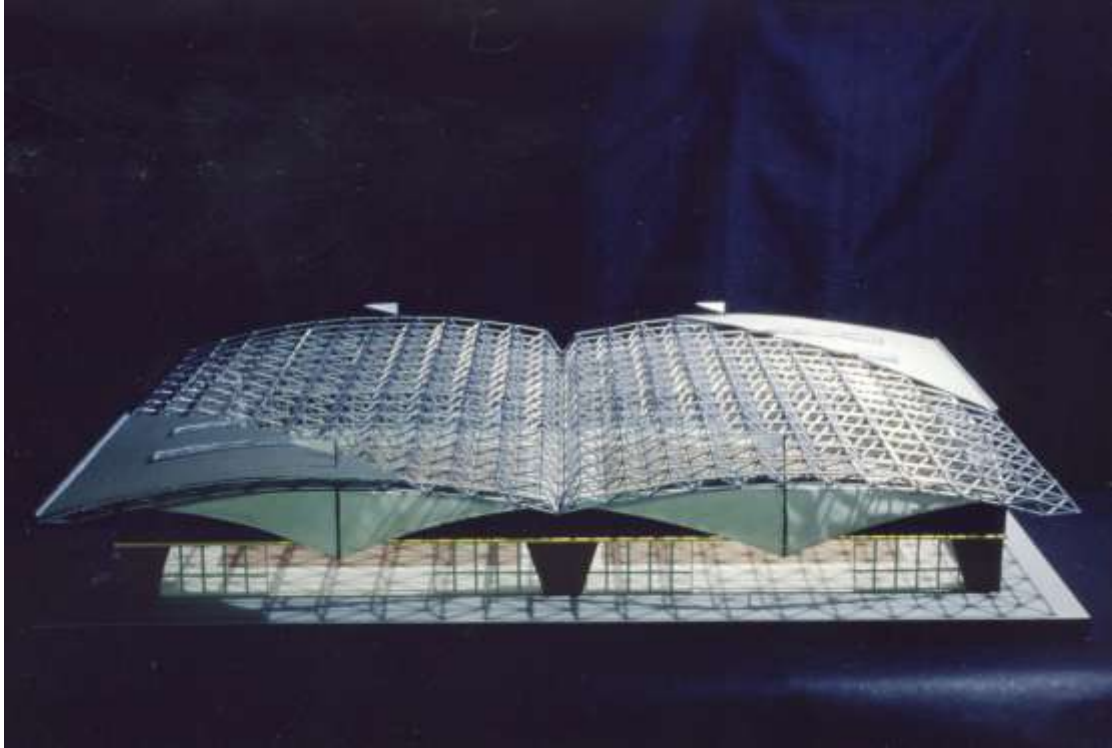
玄関キャノピー



■ 屋内ゲートボール場 (1)



■ 屋内ゲートボール場 (2)



■ サービスステーション



■ 工場

